

1962年 7/17日 7/18日 7/19日 7/20日 7/21日

46-36N 46-38 46-46 46-41 46-39

169-36E 169-34 169-37 169-22 169-20

11.9°C 11.4 11.6 12.0 12.0

1963年 7/27日 7月28 7/29 7/30

49-29N 49-00 47-11 45-07

173-17E 172-37 169-51 166-05

9.9°C 10.0 10.6 10.5

以上のような特徴の外に昨年と比して特異な現象は、昨年度のギンの胃内容物は殆んどすべてがイカばかりであった。しかも非常に多量に喰っていた、ところが今年のギンの胃内容物は空胃のものが多く、ギンの餌料であるイカの発生が悪かったということが推定され、これも今年度の水温の異常と関連があるのではなからうか。

9. 海況漁況について

大和寿男（報国水産株式会社北洋部）

昭和38年度北洋鮭鱒漁場に於ける海況、漁況に就いては、既に水産庁佐野技官始め各社担当者より詳細なる解析があったので、之との重複を避け、唯当社船団の操業せる高緯度北緯61度付近のナワリン岬南方漁場にて見聞せる2～3の事例に就いて、その概要を述べる事とする。

6月中、下旬に於ける南方漁場不漁の打開策として、昭和31.32.34.35年度操業の実績を基として、7月上旬ベーリング海北部に漁場を求めるべ

く先航独航船3隻を配船した。即ち、1隻はカラギン沖海区よりオリュートル岬南方海区を通り、ナワリン岬南方海区向け許可ラインに沿って北上、他の2隻は南方よりアツツ島西方及びアガツツ島東方を抜けて北上、各船表面水温を観測しつつ航走、一先ず北緯59度西径178度付近に投網す。

その結果、北方許可ライン沿いに北上せる船は好漁を見ず、一方、北緯59度西径178度付近に於ても、水色4~5、透明度13~19m、表面水温6.2~6.7℃の海況で2~3尾程度の羅網率であり、期待せる漁模様も出なかったが、唯投網地点の北側に稍、好模様が見えたので更に北上し、北緯61度西径180度付近で白鮭を主体とする(約9割)魚群を捕捉したので、13日より船団を投入し、7月28日漁場切揚に至る約2週間、同一漁場にて操業を継続した。

この海域に於ける先航独航船の模様では、表面水温5.3℃なるも、50m層にて1.3℃を観測、良好な羅網結果を得たが、一般に50m以深の各層で2℃以下の水温の時は羅りが良好であるという傾向が見られた。

気象の点では船団操業中は、ガスの多い難点はあったが平穏なる日々に恵れ、2~3の日を除き、平均風速は連日10ノット以下であった。

又表面水温の点でも、前期は5.3~6.6℃前後であつたものが、後半21日以後は8℃台に昇温せるも、この間は順調な経過を辿っており、水色も全般に4~5、透明度も15~18mであり、水帯に就いては特異な点は見受けられなかった。

一方、魚体に就いては、操業海区の南側寄りには少々小型で生殖巣も未熟であり、北側に偏したものは大型であるという傾向が見られた。

かい游方向は、大体西方へ向つて居るものの如く推測されたが、船団操業中、同時期及びその以降、操業海区の隣接漁区及びその西方漁区へ派遣せる先航独航船は、羅網が見られず、複雑なる動き方をして居るものの様に判断された。この

ことは6月上旬キスカ島北方海域の北緯53度東経177度付近で捕捉した足の早い白鮭の動きは北東方面に、又34.35年度に於ける北緯58~59度線の白鮭は東方に、共に許可ラインの東限に遮られ、その移動方向を終局的に握み得なかつとは言え、明らかに東方へ動いていた事実及び学者間で言われている白鮭の各地方群のベーリング海での動き等を考え併せると、魚群の移動方向を見究めるのは、仲々至難な事実と思われる。

10. 1964年における米国およびカナダ沖合さけます冬期操業調査計画

猪野 峻 (水産庁)

(1) 背景

北太平洋におけるさけます知見のうち大きく欠けているものの一つは、冬期分布についてである。このことは北太平洋漁業国際委員会の各国によって数年前から認められてきた。然しさけますの冬期生活期についての知見を得るための最初の重要な調査がなされたのは1962年になってからであった。即ちこの年の2月および3月初めに米国は中部太平洋における表層刺網試験を行なった。さけますは操業の南限であるアダック島の南45°Nで獲られ、又155°Wに沿っては46°Nまで漁獲された。

1962年11月にはワシントン州およびブリテッシュ・コロンビア沿岸沖合ほぼ250マイルの46°Nと52°30'Nの間の定点ではさけます(べにさけ)は最も北の定点でのみ獲られた。米国による流網操業は

1963年の1月から3月初めまで中部太平洋および中部ベーリング海で再び行なわれた。この時の結果は前年の知見を裏付けベーリング海の全点でさけます(べにさけ)がいることを示した。1963年の1月には、春に、からふとますが多くいた130°W以東のワシントン州およびオレゴン州沿岸沖合、およびファンデフーカ海峡から55°N、150°Wまでの